

保護者のみなさまへ、

世田谷小学校PTA会長 松平 麻美  
家庭教育学級委員長 長澤 智子

### 第一回 家庭教育学級 実施報告

## 「自分でも驚くほど成績が上がる勉強法」

～勉強だけでなく「勉強のやり方」を覚えてもらおう～

去る6月2日(木)に桜木中学校と合同で(株)プラスティー代表取締役 清水章弘氏をお招きし第一回家庭教育学級を開催致しました。桜木中学校及び世田谷小学校の保護者、約80名の方々にお集まり頂きました。ありがとうございました。

以下、簡単ではございますが、内容をご報告しますので、参加されなかった皆さんも是非ご一読ください。

まずは清水先生より、自己紹介をいただきました。

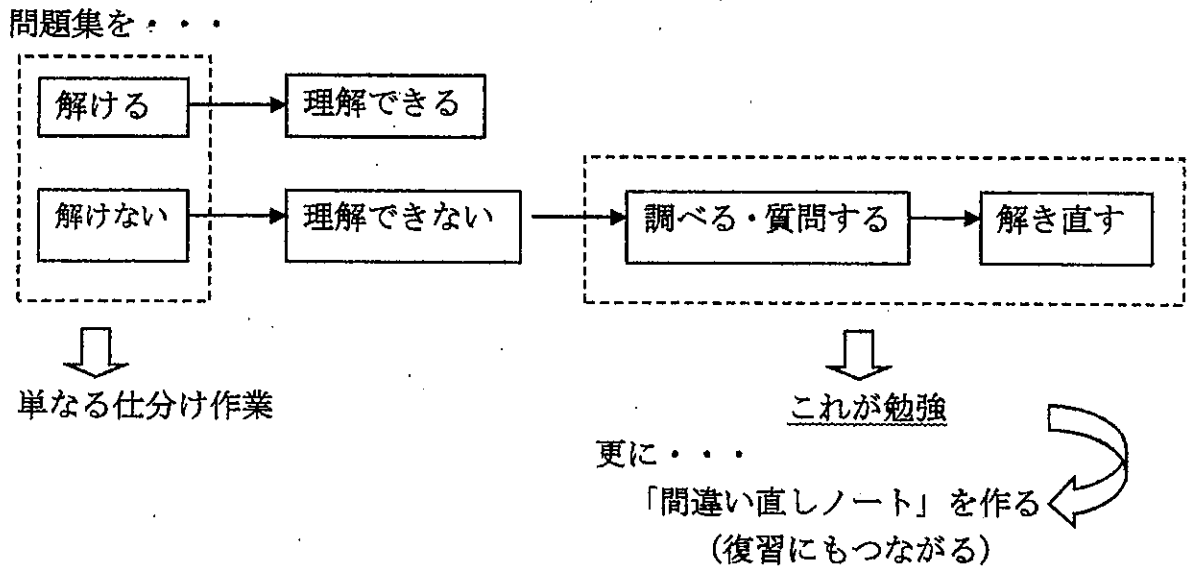
清水先生は中学2年生のときに、ゆとり教育をテーマにしたテレビ番組を見て、教育の在り方について疑問をお持ちになったそうです。そこで、独自でテレビ局に取材を申し込み、「人が社会を作る。教育が人を作る」と、夢を語ってくれる大人に出会い、教育に携わりたいと現在の道を志されたそうです。

東京大学時代の20歳で起業、現在も青森県で教育アドバイザーを担当され、大学院で「勉強のやり方」について研究されていらっしゃる。また、実際にご自身の塾で授業もなさっています。そんなノウハウを余すところなく、お話しいただきました。

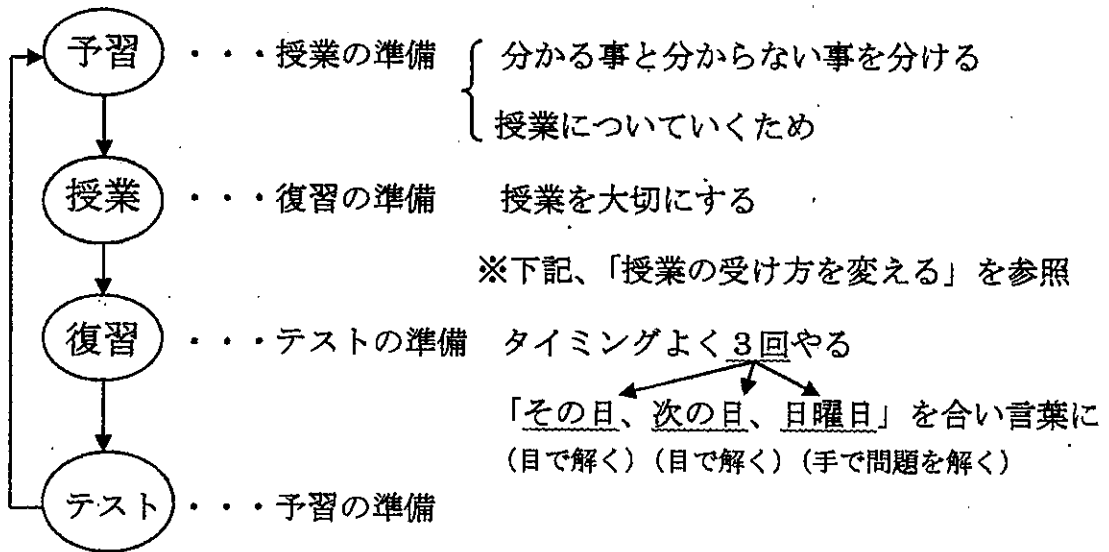


「自分でも驚くほど成績が上がる勉強法」

☆ 「勉強」とは・・・ ～「できない」を「できる」にすること～



☆ 「勉強法」とは・・・ ～勉強の4つの要素を踏まえて～



◎このサイクルは「次のことを考えて行動すること」につながる。

## ☆授業の受け方を変える

～授業を有効活用するための工夫～

① オレンジペンを使おう！

大事な事をオレンジで書けば赤色下敷きで隠せる。大事なところ探して授業に集中することにもつながる。

② ひたすらメモしよう！

何が大事か考えながら聞くようになる。

ノートの見開き左を板書、右をメモ欄にする。

③ 授業中に覚えよう！

大事なことは3回声に出して読み、覚えてからノートに書く。



授業中にノートまとめが出来る！！

☆子供は「どういうときに勉強は楽しい」と感じるか。

① わかった・できたとき (内的刺激)

② ほめられたとき (外的刺激)

→この刺激を上手に利用する

## ☆「やる気」を維持するには？

～維持できるような仕組みを作る～

① 小テストに本気になる→「こうすればこうなる」という目標を作る。

② 友達を巻き込む →友達に言いふらすことで自分を奮い立たせる。

③ 身体を動かしてから勉強を始める

→運動した後は頭が興奮状態になるので集中できる。

(計算したり漢字を書いたり音読をしてからでも可)

④ 10分・朝5分の暗記タイムを作る

→夜は5教科×2分、朝は5教科×1分暗記をする。

「夜、勉強机の上を片づけない。朝、机に戻った時に夜の記憶がよみがえる」

⑤ 授業の前後1分に復習する

→授業の前は前回の授業のページを開いておくだけでも復習になる。⇨「復習のサンドイッチ」をする。

御参加くださった皆様、ありがとうございました。

以下、当日お寄せいただいた御感想の一部をご紹介します。〔抜粋〕

- ・桜木中と合同で開催していただき、子供が高学年から中学校へ移行するうえで、小学生とは違った視点で参考になりました。今後も合同で開催していただけるような講演会があるとうれしいです。
- ・こんなに熱心に講座を拝聴したことがなかったので、自分自身驚いています。大変わかり易く頭に入ってきました。子供にぜひ伝えたいと思います。
- ・子供と一緒に先生の話の話を聞きたかったです。とても興味深いお話でした。
- ・ノートの書き方のコツやいろいろ聞けたので、良かったです。子供に家庭での勉強にアドバイスしたいと思います。
- ・今日から実践できる子供への声掛けを知ることができました。ただ、「勉強しなさい」だけでは子供は動かないので、どうしたら自分から動くことができるか、子供のタイプに合わせた声掛けを考えたいと思います。
- ・勉強をよくする人というのは、どうすれば覚えられるのか、効率がいいかを常に考えているのだと思いました。自分自身がまた勉強したいと思ってしまうくらい、やる気が出るお話でした。親だけで聞くのはもったいないお話で、子供にもぜひ聞かせたい
- ・自分が子供の時に、こんな勉強法を知っていたら違っていたのに、と残念に思います。今日学んだことを、子供と話し合っ活かしていきたいと思います。
- ・一瞬たりとも聞き逃したくないという内容でした。どんな素晴らしい講演でも、必ず眠くなる私ですが、今日は違いました。これもきっと私たちのレベルに合わせてお話くださったからだと思います。日々、親子で悩んでいた内容に対する答えを明確にいただき、感謝しています。子供のモチベーションのパターンを見つけ、授業のレベルを子供のチャンネルに合わせ「できた」喜びをたくさん味合わせてあげたいと思います。ありがとうございました。